



右から中川、伊藤、岸、嶋本、八木の各選手。4号館講堂

まず準備そして行動

中川、伊藤、嶋本、八木、岸の五輪出場選手

就活控えた学生激励

金沢学院大学の就職教育講座「五輪選手に聞く」は10月19日、4号館講堂で開かれました。今夏のロンドンオリンピックに出場した本学の職員・学生5選手が、スランプの脱出など、自らの経験を踏まえて、12月からの就職活動開始を控えた3年生約300人を激励しました。

登壇したのは、水泳高飛び込みの中川真依、トランポリン男子の伊藤正樹、同女子の岸彩乃、ウエイトリフティング女子75kg超級の嶋本麻美、同53kg級の八木かなえの5選手です。

選手らはそれぞれ、「挫折しても信念を持って臨むことが大切」「事前の準備を十分にしておく。そして考える前に行動すると結果がついてくる」といった前向きな考え方を披露し、「支えてくれてる周囲の人たちに感謝する」「自分に自信を持つ」「積み重ねが大切」などのアドバイスを送りました。

創作の面白さ実感

オープンキャンパスにぎわう

金沢学院大学・短期大学の2012年第3回オープンキャンパスは9月29日、学内で開かれました。訪れた高校生、保護者ら約260人が、カリ

キュラムや就職支援・資格取得の状況、女子寮などについて説明を受け、模擬講義や実習を体験しました。美術学科では、陶芸の



実習が行われました。高校生は粘土をこねてオリジナルの器づくりに挑戦し、創作の面白さを実感した様子でした。特別企画として、ロンドンオリンピックに出場した職員・学生5選手を紹介するコーナーも設けられました。

聴講した学生の中には、自らもスポーツに取組んでいる学生も多く、受講後の感想では、「スランプの脱し方が勉強になった」「競技に取り組む心構えが参考になった」「オンオフの切り替えの大切さを再認識した」などの声が聞かれました。

東高準優勝

北信越野球 石川県大会

第127回北信越高校野球石川県大会は9月8日から30日まで県内各球場で行われ、金沢学院東は快進撃で勝ち進みましたが、決勝では星稜に4・9で敗れ、初優勝はなりませんでした。

本大会は優勝校に惜敗 東高校は10月13日か

大学野球リーグ2位



「一日警察署長」(上)と「一日交通部長」(左)を務める3選手

北陸大学野球の秋のリーグ戦は9月1日から10月16日まで行われ、金沢学院大学は9勝5敗1分けの勝ち点4で2位でした。優勝は10勝3敗1分け、勝ち点5の福井工業大学でした。金沢学院大学は福井工大とともに10月26日から名古屋市の瑞穂球場で開催される愛知・東海・北陸王座決定戦に臨み、明治神宮大会出場を目指します。